一般質問　第4回定例会
区政をただす

足元から財政状況を分析し改善へ取り組め

自由民主党議員団　きたごう　秀文

①新たな基本構想の具体的なイメージを区民に提案し、議論してもらうべきではないか。②基本構想や10か年計画、経営改革指針というのでなく、足元から財政状況を分析し、改善していくべきではないか。

区　長　①低経済成長下での持続可能な社会の実現という観点から具体的な事柄について、折に触れ提案していきたい。②区財政は、厳しい状況が続くと認識しており、財政の健全化を着実に実現するためにも、基本構想、行財政計画が欠かせないと考える。

東大附属西側道路

行財政の構造改革を進め財政再建を

行財政の構造改革を進め、財政再建することが、区の最重要緊急課題と思うがどうか。

区　長　行財政の構造改革を進め、健全で強固な財政基盤の確立が必要と考えおり、財政状況を区民にきめ細かく説明し、理解と協力を得ながら財政再建を進めていきたい。

南台一・二丁目地区の防災まちづくり対策を

南台一・二丁目地区の防災対策について、①区長はどのような認識と意識を持っているか。②海洋研究所が移転もしくは売却となった場合の防災まちづくり対策は。

区　長　①防災性を高める必要があり、東大附属西側道路をはじめとする道路の整備や建築物の不燃化などに努め、また、地域の防災行動力の向上も重要であり、初期消火態勢の強化・充実や地域防災会の活性化のための活動を積極的に支援していきたい。②南台一・二丁目地区防災街区整備地区計画や中野区都市計画マスタープランなどにおいて、広域避難場所内に防災公園を整備するとしており、粘り強い取り組みを進めていきたい。

青少年の健全育成で社会を希望ある方向へ

今年の上半期だけで、出会い系サイト関連事件が昨年同期に比べ2・6倍増え、そのうち児童買春事件は、約3倍に増えているが、これらの事件や社会状況をどう考えるか。

区　長　子どもたちが自分の人格を大切だと実感できる育て方をしなければならないと考えており、自分が社会にとって意味がある存在だと思って育つことができる家庭や地域社会のあり方をつくっていくことが重要と考える。

「新たな公共」の担い手となるNPOの推進を

公明党議員団　やながわ　妙子

NPOへの活動を更に活発化するには、活動しやすい環境づくりが重要であるが、①独自の新しい組織を設置すべきではないか。②区とNPOとのネットワークづくりのため、懇話会を設置してはどうか。③区独自の融資制度など、財政支援をする考えはないか。

自然教材園（中野本郷小学校）

区　長　①新しい課題として必要な組織を整備し、活動の支援をしたい。②対等な立場での協力は必要であり、話し合いの場のあり方を検討している。③立ち上げ時期に限定した支援を検討したい。

環境教育の推進に「エコスクール」の実現を

環境教育の重要性が高まる中、持続可能な社会づくりには、学校における体験学習を通じ、実際に行動できる人間を育てることが大切である。①区独自の「スーパーエコスクール」を計画すべきでは。②計画実現にはNPOや企業からの技術提供を取り入れ、学校を中心に共生の循環がまき起こることが理想と思うがどうか。③エコ教育推進委員会などの組織を設置し、ビオトープづくりや「子ども環境ISO」を検討してはどうか。

教育長　①学校の主体性を大切にしながら、先駆的な取り組みを生かし、環境教育の質的向上に向け支援したい。②必要に応じNPOなどから支援を得ている。今後も広範で効果的な推進方策を検討したい。③各校の特徴や子どもたちの発想を大切に進めたい。

新たな障害への対応を急げ

いつも落ち着きがない、注意力が散漫などはADHD（注意欠陥・多動性障害）の特徴で、これまで障害とは認識されてこなかった。しかし、医学的には脳の機能障害と言われており、新たな対応を検討すべき課題である。①早急に実態調査を実施する考えはないか。②専門家による巡回相談やカウンセリング体制の整備は。③教育や障害者福祉など施策の多面的な対応が必要であり、その対策の考えは。

教育長　①保護者の理解を得ながら実施に向け考えたい。②教育センターで障害のある児童・生徒の相談を受けるほか、必要な場合は関係機関への紹介を行っている。③教員研修の充実や情緒障害学級の増設などを考えるほか、保健福祉部との連携を深め、適切な対応を心掛けたい。

区民のくらしをまもり充実させる基本構想策定を

日本共産党議員団　長沢　和彦

改定しようとしている基本構想は、区民サービス切り捨ての財政再建計画とならざるを得ないと危惧している。財政あっての区政ではなく、区民あっての区政であり、新しい中野の姿をどのように描いているのか。新たな時代の変化への対応を強調してるが、マイナス変化だけが目につく状況の中、区民のくらし、福祉、教育などを大きく前進させるという原点にたった構想の検討を強く求めるがどうか。

西武新宿線野方駅

区　長　実現の可能性を踏まえた将来の中野の姿を指標などにより具体的に描きたい。従来型の行政システムや役割をベースに考えるのではなく、新たな時代の要請に見合った仕組み作りが求められており、区民とともに考えたい。

区民健診の受診抑制につながる有料化はすべきでない

有料化が「健康への自覚を持つことにつながる」、「公平性をもたらす」というのは、誤りである。負担を強いることで受診できない人が生まれ公平性を欠く。また、国の財源措置がなくなったことを区民に転嫁すべきではないと考えるが。

区　長　費用の一部を負担することは、健康を自分で守り、つくっていくという意識を持っての受診につながる。経済的に負担が困難な方には十分配慮したい。

保険料の値上げはするな

介護保険の保険料は、引き上げをせずに準備基金を取り崩すなどして現行の水準を維持すべきではないか。また、区独自で実施する保険料の減額措置の資格要件や内容はどのようなものか。

区　長　基金の取り崩しも視野に入れて検討したい。保険